

注目の5機種を徹底比較！

最新業務PC スペック大解剖

情シスのPC選定時お役立ち Book

今、企業で本当に求められるPCとは？

5機種スペックに見るビジネスPCの真髄

テクニカルライター 笠原一輝氏が
PC選定のポイントを指南！

「企業 PC の王道」5 つを徹底比較 情シスが知るべき “今求められる PC”

リモートワークや Web 会議が働き方のスタンダードとして浸透する一方、社外での PC 利用には様々なリスクや課題がともないます。

サイバーセキュリティ上のリスクはもちろん、Web 会議上でのコミュニケーションの課題、また会社内で用いるデスクトップと比べ、ノート PC では画面が小さく業務の生産性に影響するといった課題もあるかもしれません。

生成 AI などの新たな技術も大きく進化する中、改めて今手元にある自社 PC を見直す時ではないでしょうか。

本誌では、PC の入れ替えを検討する情報システム部門の方に向けて、企業で主に用いられているノート PC 5 つのスペックを比較し、比較検討時に参考となる情報をまとめています。

また、現代の業務 PC として求められる機能などについて、テクニカルライターの笠原 一輝氏にもアドバイスしていただきました。

ぜひ、自社 PC の刷新を検討する際にお役立てください。

Profile

笠原 一輝 氏

1994 年からプロフェッショナルライターとして活動を開始し、30 年以上にわたりパソコン誌や PC 系の Web サイトなどに記事を寄稿しているテックライター。1 年のうち半分は海外に赴き、取材をして回っている。PC に半導体を提供する半導体メーカー（AMD、Intel、NVIDIA、Qualcomm など）や PC のソフトウェアベンダー（Adobe、Microsoft など）、グローバルな PC メーカー（Acer、ASUS、Dell、HP、Lenovo など）を取材し、PC 系の媒体などに寄稿している。



本誌では、日本 HP が提供するノート PC「HP EliteBook 635 Aero G11」をはじめとした 5 つの機種を比較しました。

特に情報システム部門が選定時にチェックすべきスペックについて、5 つの機種を比較しながら紹介していきます。

基本スペック

	① HP EB 635 Aero G11	② モデル A	③ モデル B	④ モデル C	⑤ モデル D
OS	Windows 11 Home/ Windows 11 Pro	Windows 11 Pro 64 ビット	Windows 11 Pro 64 ビット	Windows 11 Pro	Windows 11 Pro
本体サイズ 幅×奥行×高さ 単位：mm	297.3 × 211.2 × 15.1 (後部)	306.0 × 210.0 × 17.9	306.0 × 210.0 × 17.9	305.7 × 207.5 × 18.4 (背面)	305 × 218 × 17.2
メモリ 容量	オンボード： 16GB LPDDR5	16GB	16GB	16 GB	オンボード： 8GB/16GB/ 32GB
ストレージ	512GB M.2 (PCIe NVMe 対応)	256GB (PCIe, NVMe 対応)	256GB (PCIe, NVMe 対応)	512GB	256GB/ 512GB/1TB

※ 1：本誌のスペック比較表はすべて日本 HP と EnterpriseZine 編集部が協議の上、作成しています。
※ 2：各スペックは 2025 年 6 月時点で公表されている情報をもとにしています。
※ 3：各スペックの表記は各社が公表している情報に則っています。

PC スペック比較 重量／画面サイズ／解像度

	① HP EB 635 Aero G11	② モデル A	③ モデル B	④ モデル C	⑤ モデル D
重量	◎ 約 0.99kg～	◎ 約 0.875kg (LTE対応:約 911g)	◎ 約 0.875kg (LTE対応:約 912g)	△ 約 1.23kg～	△ 約 1.23kg～
画面 サイズ	◎ 13.3 インチ ワイド (16:10) WUXGA	○ 13.3 インチ FHD	○ 13.3 インチ FHD	○ 13.3 インチ FHD	◎ 13.3 インチ WUXGA
解像度	◎ 1920 × 1200	○ 1920 × 1080	○ 1920 × 1080	○ 1920 × 1080	◎ 1920 × 1200

※ 1：スペック比較表は日本 HP と EnterpriseZine 編集部が協議の上作成。

重量

リモートワークなどでPCを持ち歩く際に、軽いことはメリットになる一方、通勤ラッシュ時に負荷がかかることで簡単に壊れてしまったりは困りますよね。このような観点から見ると、HP EliteBook 635 Aero G11 は軽さと頑丈さのバランスが取れている製品だといえます。

同製品は、天板と底面などほぼすべての外装に金属素材を採用しているのにも関わらず、1kg を切る軽量さを実現しています。他社製品でももう少し軽い製品もありますが、そうした製品では金属とプラスチックのハイブリッド素材を採用するなど強度をやや犠牲にして実現していることが多いです。

近年では、軽量化を実現するためにバッテリーの容量を極端に減らし、軽い分だけバッテリーが切れやすい製品も増えていますが、同製品には 43Whr が搭載されており、このクラスの製品として標準的な容量を備えているといえるでしょう。



画面サイズ

画面サイズは少なからず作業効率に影響を与えます。特にリモートワーク時にノートPCを使う際は、デスクトップより画面サイズが小さくなることで不便を感じる方もいるかもしれません。

これまでのビジネス向けノートPCは、画面における横と縦の比率（アスペクト比）が 16:9 となる FHD (1920 × 1080 ドット) の製品が主流でした。これに対して近年注目されているのが WUXGA。アスペクト比は 16:10 で、縦方向に 120 ドット分だけ表示領域が増えていることが大きな特徴です。

HP EliteBook 635 Aero G11 は、13.3 型 WUXGA (1920 × 1200 ドット) の解像度をもつ液晶ディスプレイを採用しています。これにより、Web ブラウザで Web サイトを見る際に、一度に表示できる情報量が増えるというメリットがあります。



編集部より

たとえば Excel で表計算を行うとき、FHD では 29 セル、WUXGA では 34 セルを縦方向に表示可能。画面上に表示できるセルの数が増えることで、スクロールや入力作業時間を削減できます。

PC スペック比較

プロセッサ性能／EPEAT 認証取得／耐久性

	① HP EB 635 Aero G11	② モデル A	③ モデル B	④ モデル C	⑤ モデル D
プロセッサ性能	◎ AMD Ryzen™ 5 8640U	○ インテル® Core™ Ultra 7 165U	○ インテル® Core™ i7-1365U	○ インテル® Core™ Ultra 5 125U	○ インテル® Core™ Ultra 5 125U
EPEAT 認証取得	◎ Gold 取得	— (記載なし)	◎ Gold 取得	◎ Gold 取得	◎ Gold 取得
耐久性	◎ MIL-STD 810H : 19 項目	○ MIL-STD-810G/ 810H : 10 項目	○ MIL-STD-810G/ 810H : 10 項目	◎ MIL-STD 810H : 18 項目	○ MIL-STD 810H : 12 規格

※ 1 : スペック比較表は日本 HP と EnterpriseZine 編集部が協議の上作成。

プロセッサ性能

一般的に CPU コアが増えれば増えるほど処理は高速になり、PC が何か作業を始めてから完了するまでの時間が短縮されます。

HP EliteBook 635 Aero G11 が採用している CPU は、AMD Ryzen 8040 シリーズ プロセッサ (以下、Ryzen 8040) 。Ryzen 8040 は「Zen 4」と呼ばれる AMD の CPU デザインを採用しており、最大 8 個の CPU コアを 1 つの製品に搭載することで、優れた電力効率を実現します。これは競合他社の CPU に比べて低価格かつ高性能だとされています。

編集部より

HP EliteBook 635 Aero G11 ではニーズに応じて、8 つの CPU コアを持つ「Ryzen 7 8840U」と「Ryzen 5 8640U」の 2 つのグレードからいずれかを選択してカスタマイズ注文が可能。東京にある HP の自社工場で行ったビジネスノート PC の生産を行っているため、注文から最短 5 営業日で納品する体制が整えられているところも特長です。

他にも予算や用途に応じてストレージ容量や Wi-Fi のスペックなどがカスタマイズ可能なため、自社に最適化した PC を注文することができます。

EPEAT 認証取得

企業によっては、選ぶ PC が環境に配慮されたものか気にするところも多いでしょう。従来、PC メーカーが環境に配慮した製品の設計に努めていても、それを客観的に評価する基準が存在しなかったため、ユーザーは環境に配慮された製品を見分けられませんでした。

そこで登場したのが EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool) 認証。メーカーがどのようにして環境に配慮しながら製品を設計・製造しているのかを評価・認証するプログラムで、ゴールド・シルバー・ブロンズと 3 段階の認定レベルが設けられています。

HP は、2023 年の PC・モニター製品全体の 61% がゴールド認証を取得するなど積極的に取り組んでいるメーカーの 1 つ。もちろん HP EliteBook 635 Aero G11 もゴールド認証を取得しています。

また HP は、キーキャップのプラスチックの再生素材利用率が 50%、ボディの金属素材におけるリサイクルアルミニウム利用率が 90%、化粧箱にもサステナブル素材が利用されるなど、環境に配慮した工夫を様々な場面で施しています。サステナブルなノート PC を探している企業にとっては安心して選択できる製品の 1 つでしょう。

耐久性

ノート PC の耐久性を示す基準として知られる「MIL-STD 810」。元々は米軍が規定した軍隊装備向けの試験基準で、温度・湿度・高度・振動・衝撃・耐水などの環境条件に即した実験室の試験によって評価するものです。近年はノート PC の耐久性に関する客観的なテスト基準として MIL-STD 810 が利用されることが増えてきました。

一般的なノート PC は「MIL-STD 810G」という上から 2 番目の試験基準でテストされた製品がほとんど。対して HP EliteBook 635 Aero G11 は、現時点で MIL-STD 810 の試験基準の中で最上位レベルとなる「MIL-STD 810H」のうち 19 項目をクリアしています。

たとえば、MIL-STD 810G の落下テストでは、5cm の合板の上に高さ 76cm から合計 26 方向の落下を実施。対して MIL-STD 810H の落下テストでは、5cm の合板の上に高さ 121cm から合計 26 方向の落下を行います。実際の利用シーンで考えると、高さ 76cm は PC を人間の腰のあたりから落とした場合、高さ 121cm は PC を胸に抱えていたところから落とした場合の高さと捉えられます。

より厳しいテスト基準を採用し、そしてそれをクリアしている PC は安心して利用することができます。



PC スペック比較 駆動時間／カメラ機能／無線 LAN

	① HP EB 635 Aero G11	② モデル A	③ モデル B	④ モデル C	⑤ モデル D
駆動時間※1	○ 8.2 時間 / 13.8 時間	○ 8.5 時間 / 14.0 時間	△ 7.0 時間 / 10.5 時間	△ 7 時間 5 分 / 12 時間 21 分	◎ 約 11 時間 / 約 27.3 時間
カメラ機能	◎ 約 500 万画素 ※ 5MP/IRカメラ標準搭載	△ 約 92 万画素	△ 約 92 万画素	○ 約 200 万画素	△ 約 92 万画素
無線 LAN	◎ MediaTek RZ616 Wi-Fi 6E 対応	◎ Wi-Fi 6E 対応	◎ Wi-Fi 6E 対応	◎ Realtek RTL 8852BE 2x2 Wi-Fi 6, Wi-Fi 6E 対応	◎ Wi-Fi 6E 対応

※ 1：JEITA 測定法 Ver3.0 の測定値。「動画再生時 / アイドル時」の時間を表示。

※ 2：スペック比較表は日本 HP と EnterpriseZine 編集部が協議の上作成。

駆動時間

充電しにくい会議環境で PC を用いることが多い場合、バッテリーの駆動時間もできるだけ長いものが好ましいでしょう。

HP EliteBook 635 Aero G11 は、より効率性の高い CPU を採用したり、LED バックライトの液晶ディスプレイを採用したりなど、電力効率が高くなるよう設計されています。そのため、バッテリー駆動時間はオフィスアプリケーション利用時の試験 (MobileMark 25) で約 11 時間 30 分、日本の試験基準である JEITA 測定法 3.0 で、動画再生時 8.2 時間、アイドル時 (画面のみ稼働している状態) で 13.8 時間という結果が示されています。

特に前者のオフィスアプリケーション利用時の試験では、実際にユーザーが利用している Microsoft の Office アプリケーションを自動的に動かしてバッテリー駆動試験が行われるため、ユーザーがアプリケーションを利用している実環境により近い結果が示されます。この環境で約 11 時間 30 分利用できれば、朝 8 時に始業したとして、昼食などの休憩時間がなかったとしても夜 18 時半まで PC の充電をしなくても使い続けられるということです。実際には昼に休憩を挟むことが一般的ですし、移動時間なども考えれば、ほぼ 1 日バッテリーだけで PC 作業が完了する計算になります。

編集部より

バッテリー駆動時間が長かったとしても、使っているうちにバッテリーが消耗され、すぐに充電が減ってしまうようになりがちです。このような中、HP ではバッテリーの充放電が 1,000 回以上行われても動作することを公表しています。他社ではこのようにバッテリーの寿命を公表しているところはあまりありません。多少ハードな使い方をしたとしても、バッテリー寿命を長く保てることも HP の PC を使うメリットの 1 つだといえるでしょう。

カメラ機能

コロナ禍を経て、オンラインでミーティングを行うことはもはやスタンダードとなりました。オフラインと同じように、カメラを通じた自らの印象の良し悪しは、相手との信頼関係構築に影響する重要な要素となります。せっかく魅力的なプレゼンテーションをしても、PC のカメラの品質がイマイチなために、相手にぼやっとした映像しか見えないのではもったいないですね。今の時代、ビジネスパーソンとしては Web カメラの表示品質にもこだわりたいところです。

カメラ機能について各社の PC 製品を見てみると、HP EliteBook 635 Aero G11 には 500 万画素の Web カメラが搭載されており、一般的なノート PC のカメラよりも高解像度なのが特徴です。500 万画素は解像度によると WQHD (2560 × 1440 ドット) で、一般的なノート PC に採用されている HD 解像度 (1270 × 720 ドット) の 100 万画素や FHD (1920 × 1080 ドット) の 200 万画素の Web カメラと比較すると大きく差があります。

もっとも、ビデオ会議ソフトウェア (Zoom や Teams など) が転送速度の観点から HD 解像度などにスケールダウンして映像を相手に送る仕様になっているため、HD のカメラで十分だと考えがちですが、実際には高精細な映像をスケールダウンした方がはるかに綺麗な映像を生成できるので、映像の鮮明さという観点では 500 万画素のカメラには大きな意味があるでしょう。

